

医療情報システム 導入支援コンサルティング

ご提案書

ご提案の背景	3
導入支援コンサルティングのねらい	5
コンサルティングサービスメニュー	7
コンサルティングサービス概要	8
その他のソリューションサービス	10
弊社企業概要	12



医療情報システム導入の際の課題

厳しい経済環境の中、病院では業務効率化とコスト削減が急務となっています。その一方で患者様本意の医療と質の高いサービスが求められています。また、厚労省の政策によるシステム化への対応も必要不可欠となりつつあります。このような状況の中で、如何に効果的な情報システムを導入できるかが課題となっています。

医療情報システムには、数十万円～数百万円の部門システムから、数千万円、数億円にのぼる電子カルテやオーダリングシステムまで様々です。特に統合的な情報システムを検討する場合には、組織横断型の導入プロセスを徹底しない限り「使えないシステム」となってしまいます。高額なシステムを導入してもその費用対効果が十分でなければ意味がありません。この問題は病院の経営に大きな影響を与える要件のひとつとなっています。

「システムは何のために導入するのか？」といったシステム化の目的を現場スタッフが認識し、現行業務の再構築（BPR：業務分析と業務改革）を推進していくことが必要ですが、院内のITに詳しいスタッフに任せるだけでは最適なベンダー（システム）選定やシステム構成の検討を実施するのは難しい状況です。



システム構築の問題点



システムベンダー

- ベンダー側が医療現場の実情を十分に理解していない
- 病院側の導入の目的が不明確
- 院内での意志統一が行われなまま病院側の要求が変わる
- 効果的な運用策定ができない



病院スタッフ

相互の考え方や習慣、業務といった要因を十分理解していない状況でシステム導入が進められてしまう。殆どのケースでは、システムベンダー主導（あるいはベンダーへ丸投げやベンダー任せ）で導入プロジェクトが進められているため、構築後のシステムを活用した新しい運用が、実際の現場運用に合っていない等の問題が発生している。

医療情報システム 導入の際の5つの 留意点



1. システム導入の目的と位置づけ

システム化の目的が明確にするとともに、現行業務の再構築(システムを活用した新運用策定)を推進する。

2. システム化の範囲

システム化を行う範囲を明確にし、ベンダー任せの過度なシステム化を回避する。

3. 将来性と拡張性

システム間の横連携を大前提とした、将来的な更新、増設に関する拡張性をあらかじめ考慮する。

4. 院内の導入体制

意思決定層と専門家を参画させた導入プロジェクトチームからなる院内の組織体制を整える。

5. 初期投資額とランニングコスト

システム導入に関わる5年分の予算を確保。保守費用等のランニングコストも忘れずに考慮する。

コンサルティング サービスの 必要性 と効果



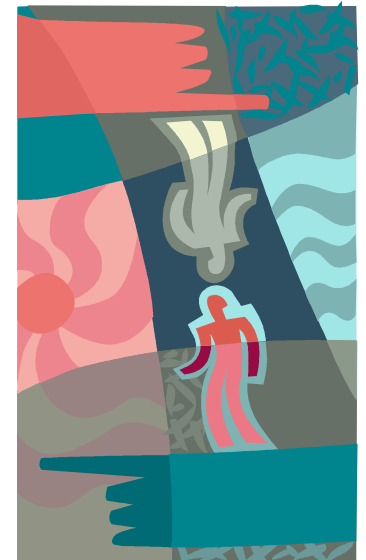
- 経営戦略とIT化計画の整合性の確保
- 最適なシステム化範囲の策定
- 投資コストの最適化
- 現場スタッフの意識改革
- ITを活用した新しい業務運用の策定
- 病院側に立ったベンダーマネジメント
- システム導入後の継続的なIT活用支援

医療情報システム構築の実情に詳しいコンサルタントが院内IT化プロジェクトに参画することで、システム導入失敗のリスクを排除し、現場のニーズに合った最適なシステム選定・導入が可能になります。

弊社の医療情報システム導入支援コンサルティングには、病院様の様々なシステム検討、選定、導入フェーズに合わせたサービスが用意されています。

電子カルテやオーダリングシステム等の大規模な統合システム導入支援をはじめ、院内のIT化レベルの診断から医療情報システムのRFP(提案依頼書)の作成まで、医療情報システム専門のITコンサルタントが貴院のIT化をサポートいたします。

- ベンダー選定支援
- IT化レベル診断
- 医療情報システムRFP(提案依頼書)作成支援
- 導入プロジェクト管理支援
- ベンダー紹介サービス
- 顧問サービス



ベンダー選定支援

院内のIT化を進めるにあたり、パートナーとなる医療情報システムベンダーの選定は最も重要な課題となっています。貴院に最も適した医療情報システムのベンダーはどこなのか、医療現場ニーズの視点にたった選定支援をいたします。

IT化レベル診断

実際に現場のスタッフがどの程度システム化を望んでいるか、また、実際にシステムを導入した際に、スタッフが使いこなしていけるかどうか、現状の運用フローを考慮した上でIT化のレベル診断を行います。

提案依頼書 (RFP)作成支援

多くの部門で構成される医療機関では、すべての部門のシステム要求仕様をまとめるのは大変なことです。これまで多くの医療機関で要求されてきた仕様書をベースに、貴院の現場ニーズを踏まえ、貴院専用の提案要求書を作成いたします。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.interark.co.jp/>



導入プロジェクト 管理支援

医療現場とシステム開発に精通した医療ITコンサルタントが、病院とシステムベンダー双方の間に入り、システム導入プロジェクトが円滑に進むよう、病院側の立場で管理、サポートいたします。

ベンダー紹介 サービス

自院でシステム導入を行う場合、どのメーカーまたはベンダーのシステムを導入していくべきか悩むことがあります。予算的な要因と現場のニーズから、これまでの実績や客観的な評価を踏まえ、貴院に最も適したベンダーを紹介いたします。

顧問サービス

月に1回～2回程度貴院へ出向き、IT化に関する様々な相談に対応いたします。院内IT化委員会の定例会などがあれば、オブザーバとして参加いたします。また、院内情報システム担当者として対ベンダー交渉のアドバイスを行います。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.interark.co.jp/>



医療情報システムの企画・開発

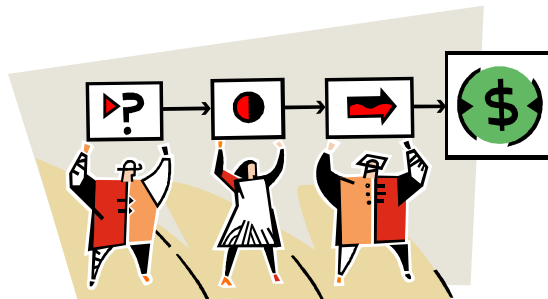
新しい医療情報システムの企画から開発、販売、導入までを支援いたします。

●医療情報システムの請負開発

これまでの医療情報システム開発及び導入の経験から、開発時における仕様の検証や実業務との妥当性を判断し、高品質で使いやすいシステムを開発します。

●新規パッケージ企画、開発

病院と協同で、新規医療情報システムの開発を行います。
病院は独自仕様によるシステムを構築することはもちろん、このシステムをベースとしたパッケージ開発、販売も可能です。



詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.interark.co.jp/>



常駐型SESの提供

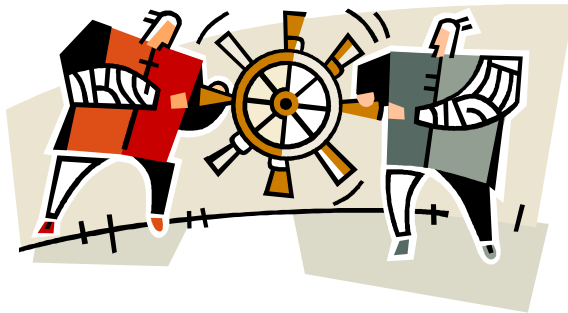
主に医療情報システムを強みとする弊社SEが病院の情報室に常駐して、システムの開発や導入を支援いたします。フェーズによっては院内のSEとしてベンダーとの折衝や見積もり交渉なども行います。

●常駐型SES(System Engineering Service)

病院のスタッフとして弊社SEが貴院へ常駐いたします。

新規システムの導入やベンダーとの交渉、院内のシステム保守、日々の運用管理まで総合的にサポートいたします。

院内SE(情報システム担当者)やプログラマの育成にも大変効果的です。



詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.interark.co.jp/>



お気軽にお問い合わせください。

株式会社インターアーク

【事業内容】

Application BU

Webシステムに特化したECサイト開発やインターネット広告効果測定システム開発、業務管理システムのWeb化等。

Network BU

システム全体の新規設計・構築・運用・保守・教育、ネットワーク監視ツールの導入提案・支援・保守等。

Medical BU

医療情報システムの導入による業務改善の提案、システムベンダー選定支援、院内システムのパッケージ開発等。

Embedded BU

リアルタイムOS／組込OSを使用した受託開発、組込みシステムコンサルテーション、組込みシステム教育等。

【問い合わせ先】

〒111-0033 東京都台東区花川戸2-17-8 ハン六ビル 6F

Tel:03-5826-0900 Fax:03-5826-0901

<http://www.interark.co.jp/>

